

83.長期停滞下の現代資本主義—理論的・実証的・歴史的的分析—2024年刊

(鳥居 伸好 編著, 2024年10月刊, 195ページ, 定価2,500円<税別>)

はしがき		鳥居 伸好
第1章	長期停滞論へのカレツキアンモデルの適用可能性	東 浩一郎
第2章	マルクス経済学から見た生産関数の検討	平野 健
第3章	長期停滞下における競争政策の展開 ——イノベーション政策を中心に——	秋保 親成
第4章	大手鶏卵会社の組織体犯罪とグローバル資本主義	前島 賢土
第5章	資本主義の基本的矛盾と新自由主義的政策 ——日本と韓国の事例を中心に——	鳥居 伸好
第6章	資本主義経済の「内在的矛盾」と日本経済の長期停滞 ——「収益性危機」脱却の「成功」の帰結としての停滞——	松橋 透
第7章	日本経済の衰退と日本独占資本の没落 ——外需依存と新自由主義の帰結——	村上研一